

私たちのまちづくり

第11号 平成28年3月

発行責任者 下川 照雄
広報活動部会 編集

地域に開かれた活動の推進を



坂井輪小・小新中学校区
まちづくり協議会会長 下川 照雄

今年も早いもので、三月になってしまいました。昔からよく言います一月行く、二月逃げる、三月去るとは、その通りですね。

さて、昨年十一月十四日、当まちづくり協議会の活動拠点として、まちづくりセンターが区長、小新中学校・坂井輪小学校両校長先生に、ご臨席頂きオープン致しました。地域に開かれた活動の場の提供と、まちづくり協議会からの催し物を通してのふれあい活動を進めてまいります。

最初の取組みは、お茶の間「らっくり」を毎月第三火曜日の午前十時から、一月より始めました。また、地域の方々から利用も始まっています。当然の事ながら、当協議会の各部会活動も、三月末日までに計画を立て、四月からの活動開始に向けて活発に動き始めております。

そして、当協議会の役員会議、自治会長会議、各部会会議等を開催して、意思の疎通をはかっている所です。

まだまだ三寒四温の日が続くと思われれます。どうぞ皆様におかれましては、ご自愛下さいませようお願い致します。

まちづくりセンター開設

昨年の十一月十四日に、坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会では、活動や交流の拠点となる「まちづくりセンター」を西区小針南に開設した。

空き店舗を改装し、多目的室や事務室を備えたセンターとなっております。多目的室は、最大20人ほどの利用が可能です。

当センターでは、役員の会合や高齢者向けの講習会、子育て支援事業などの取り組みを進めていきたいと思っております。

独自の講習会として、まず地域包括支援センター小針・小針の計画に

よるお茶の間「らっくり」を毎月開催しています。(詳細は、二面に掲載)
皆様からの要望をお聞きしながら進めていきたいと思っております。



坂井輪小・小新中学校区まちづくりセンター

短歌入門教室

センターの講座の一つとして、短歌入門教室を開きます。四月第二日曜日の午前十時から午前中とします。皆様奮って参加ください。会費は月五百円。講師は摩尼久晴です。コスモス短歌会新潟県支部代表、県歌人クラブ常任幹事。

自分が生きているという証(あかし)を短歌にまとめてみませんか。五七五七七のリズムは、古代からの日本人のリズムです。

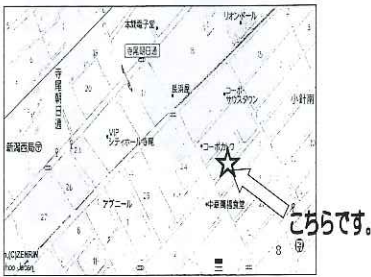
地域のふれ愛活動

会場：坂井輪小・小新中学校区まちづくりセンター
 内容：簡単らくらく体操、ワンポイントAI、茶話会
 住所：西区小針南17-5 コーポカトウ102 ※駐車場はございません、予めご了承ください

第1回	4月19日(火)	10:00~11:30
第2回	5月17日(火)	10:00~11:30
第3回	6月21日(火)	10:00~11:30
第4回	7月19日(火)	10:00~11:30
第5回	8月16日(火)	10:00~11:30
第6回	9月20日(火)	10:00~11:30

体操を実施しますので飲み物(氷筒・ペットボトル等)をご用意下さい。

会場案内図



問い合わせ先
 新潟市地域包括支援センター小新・小針 ☎025-201-1351



十一月十四日開所いたしました。当まちづくりセンターの活用について、包括支援センター小新・小針様のお茶の間「らくらく」を、毎月第三火曜日、午前十時

から十一時三十分まで開催することになりました。駐車場はありませんが、簡単らくらく体操、茶話会、ワンポイントアドバイス等を行いますので、皆様お誘いの上、遠慮なく御参加ください。

**平成28年度坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会
 お茶の間「らくらく」開催**



会議資料の役員検討会

去る一月二十二日(金)にまちづくりセンターに於いて、新年会を兼ねた自治会会長会議が行われた。議題は、

①「センター利用規則」の説明。
 センター平面図及びセンター利用についての申込み及び鍵の受け取り、返却について説明がありました。

②今年度発足した各部会の活動について、各部長より、その状況について報告があった。課題も多いが、その成果が見えるようになってきた。住みよいまちづくりを目指して活動することを確認しました。

③その他、地域包括ケアシステムについての説明がありました。

**まちづくり協議会
 自治会長会議開催す**



**平成27年度
 地域と学校パートナーシップ
 事業推進会議**

去る二月十五日(月)に新装なった、小新中学校コミュニティルームで開催された。本間校長先生、下川会長と推進委員の多くが出席されました。まず、内山コーディネーターより、本年度のパートナーシップ事業の実施報告があり、その後、次の項目について意見交換がなされました。

①本年度の事業内容及び運営方法について。

②次年度の事業推進について。

③「コミュニティルーム」の活用について。

その他の意見として、防災訓練に小・中学生の参加の体制を考えてみたらとの意見がありました。また、内山コーディネーターに引き続きお願いすることになりました。

坂井輪小学校区自主防災訓練651名参加

坂井輪小学校区自主防災会の「防災訓練」が、六五一名の参加者によって小学校の体育館で九月二十七日(日)に実施されました。

訓練は、二十六自治会を三ブロックに編成し、心肺蘇生、AED操作、応急手



当を体験することができた。一度体験しておくことが災害時には大いに役立つものと思います。

講演は、新潟大学危機管理室・教授の田村圭子氏より「校区に想定される地震と津波」―シエイクアウト



訓練に学ぶ日々のそなえの貴重なお話と実技を経験することができた。参加者からは、もっと詳しくお聞きしたかったというご意見があった。また「本邦初公開」となったセキスイのゼットロンについても好評であった。女性の方からは、トイレへの活用の要望があった。



地域の避難マップ作り研修会開催

防災訓練や田村圭子教授の講演から、災害時に備えて地域の皆様をどのように避難させるかということが重要な課題であり、研修会を開催することになりました。



辺係長を講師としてお招きして、第一回の研修会を平成二十七年十月二十四日に坂井輪コミュニティセンターにて行われました。

今回のマップ作成は、水害時におけるものを中心に避難の経路や危険場所等について、各避難場所ごとに班分けして作業を行った。

第二回は、去る二月二十日に同じ



第一回目には不備な所等や新しい施設を追加するという細部に渡り検討がなされました。地域ごとの「避難マップ」の完成をめざして、今後も研修を重ねて皆様に一日も早く配布できるように作業を進めていきたいと思っています。



地域ふれあい餅つき大会

一月二十四日(日)に坂井輪小学校体育館にて、参加者一二四名という皆様が集まり行われた。留学生も六名が参加し一緒に餅つきをしました。当日は、暴風雪警報が出され気温も低く最悪の日であったが、昨年より人数は半減したが楽しい交流を行うことができた。



また毎年行っている「チャリティ募金」には、一万一千二百八十円が集まり「交通遺児育英募金」に寄附しました。



セーフティスタッフ表彰を受く

平成二十七年に創設された、地域に貢献した、個人、団体へ感謝状と記念品贈呈式が、去る平成二十七年十二月六日に行われ、セーフティス



タッフとして長年活動された中口義彦氏が、西区長より表彰された。

短歌作品 摩尼 久晴

皆さん参加してね

平成28年度行事・活動予定 (4月~29年3月)

月	日	行事名	会場
4	2	西川桜左岸にぼんぼり設置	西川左岸
	24	「てくてくウォーキング」	西川遊歩道
6	2	自転車安全教室(3年生児童対象)	坂井輪小グラウンド
	3	平成28年度定期総会終了後、区政懇談会を開催	坂井輪コミュニティセンター
7	上旬	平成28年度交通量調査	大堀幹線坂井輪小学校
8	7	西区一斉クリーンデー	小・中学校の通学路
9	下旬	広報紙12号「私たちのまちづくり」発行	全世帯配布
10	2	地域合同防災訓練	坂井輪小学校
11	中旬	健全育成講演会	小新中学校コミュニティルーム
29年	1 下旬	「地域ふれあい餅つき大会」	坂井輪小学校
	3 下旬	広報紙13号「私たちのまちづくり」発行	全世帯配布

編集後記

会報も発行から満十年の歳月を迎えました。その会報をめぐりつつ、「まちづくり協議会」の歴史をしみじみと感じます。◆平成27年度から、二回の発行となり、より地域の皆様のニュースを知らせることができるようになりました。◆当協議会のセンターが昨年の十一月に開所し、地域の皆様の活動の拠点として使用し

- ・反骨の心みがきし佐渡の生、青野季吉はた北一輝
- ・相川の町を見下ろす草の丘鉱山人夫の墓散乱す
- ・稗の粥いただき食べし順徳帝在島二十二年自殺をしたり
- ・白菊を手向くる陛下と同時代生ききてペリリユー島われ知らざりき
- ・傘生き兼好の言葉よみがへる「死を憎まば、生を愛すべし」

てもらうことになりました。◆各自治会には、利用規則や申込書を配布し、皆様に知っていただくようにしてあります。◆センターの利用は無料です。グループ等でも使用できますので、積極的に利用ください。湯沸室もあります。◆センターは、新潟企業業の近くにあり、新年度の活用を期待しています。(摩尼)